

工藤一郎国際特許事務所が開発した YK 値および US-YK 値に関する分析

Gemini Deep Research

I. はじめに

工藤一郎国際特許事務所は、特許評価の分野において独自の貢献を果たしている日本の特許事務所です。特に、特許の価値を経済的な側面から捉える YKS 手法を開発し、これに基づいた指標として YK 値および US-YK 値を提唱しています¹。同事務所は、特許出願をはじめとする関連業務に加え、特許価値評価、知財戦略コンサルティング、IP ランドスケープ、出願動向調査など、幅広いサービスを提供しています⁴。工藤一郎国際特許事務所が開発した YK 値は、日本銀行や東京証券取引所といった著名な機関で採用されており、その信頼性と実用性が広く認められています³。本報告書では、これらの特許価値指標である YK 値と、その米国市場対応版である US-YK 値について、その定義、算出の考え方、活用事例などを詳細に分析します。

II. YK 値の理解

YK 値（ワイケーち）は、工藤一郎国際特許事務所が独自に開発した特許技術競争力指標です²。この指標は、特許が持つ「独占排他性」の強さを測定することを目的としています²。特許の独占排他性とは、特許として登録された発明について、特許権者がその実施を独占できる権利を指し、特許法第 68 条に規定されています²。この独占排他性の強さを、競合他社をはじめとする第三者からの干渉や攻撃（アクション）の多さに基づいて評価するのが YK 値の核心的な考え方です²。

YK 値は、工藤一郎国際特許事務所が開発した独自の価値評価手法である YKS（YKS 手法）に基づいて算出されます²。YKS 手法は、特許の技術的な高度さだけでなく、事業上の、すなわち経済的な価値を評価することに重点を置いています²。この手法は、個々の特許がどれだけの収益を生み出す力を持つかを評価しようとするものです²。特許の出願件数や登録件数といった従来の指標だけでは、企業の技術力を正確に反映できないという認識から、特許庁が開示している様々なデータを分析・集計し、特許一件ごとに精密なスコアリングを目指して開発されました²。YKS 手法は、特許を企業の将来の成長力を推定するための重要な無形資産と捉えています²。

YK 値の算出ロジック（概念）は、特許に対する第三者からのアクションにかかるコストを考慮するという点に特徴があります²。競合企業にとって、独占排他性の強い特許は事業活動を大きく制限する可能性があるため、脅威となります。そのため、そのよう

な特許に対しては、競合企業は多大なコストを費やしてその詳細を調査したり、無効にしようとしたりする行動をとります²。具体的には、閲覧請求、刊行物提出、異議申立、無効審判などが、競合他社が特許に対して起こすアクションの例として挙げられます³。これらのアクションは、特許の成立を阻止したり、特許権を消滅させたりすることを目的としており、それらにかかるコストは、競合他社がその特許にどれだけの価値を認めているかの裏返しと捉えることができます²。したがって、第三者からのアクションが多い特許ほど、独占排他性が強く、事業上の価値が高いと判断できるのです²。YK 値は、特許庁が発行する情報をプログラムで客観的に分析し、これらの第三者が起こしたアクションのコストを計算することで、特許の独占排他性を数値化したものです²。

工藤一郎国際特許事務所は、YK 値と並行して YK3 値（ワイケースリーチ）という指標も開発しています²。YK 値が競合企業などの第三者から見た特許の価値を測定するのに対し、YK3 値は特許権者本人から見たその特許の価値を測定するものです²。YK3 値は、特許権者がその特許の登録や維持のためにどれだけのコストを費やしたか、すなわち特許に対する注力度を測る指標であり、「特許投資度指標」とも呼ばれます²。特許権者が行う出願、早期審査請求、優先権主張、海外展開、異議申立対応などが、YK3 値の算出において考慮されるアクションの例です²。YK3 値は、コストアプローチ的な観点から YK 値を補完する役割を果たすと言えます²。

YK 値は、企業の技術力を把握したり、M&A の対象企業を選定したり、投資や融資の判断材料としたり、特定の技術分野における特許シェアを分析したり、企業の特許戦略を分析・改善したりするなど、様々な場面で活用できます²。特に、企業の競争力を特許力の観点から評価したり、優れた特許を持つ M&A 対象企業を選定したりする際に有効です²。投資や融資の意思決定においても、企業の特許無形資産の強さを示す指標として活用されることがあります²。また、特定の技術分野における競合他社の特許状況を把握し、自社の特許戦略を策定・見直す上でも重要な情報を提供します²。さらに、IP ランドスケープ分析においても、技術動向や競合状況を把握するための重要な要素となります⁴。

YK 値の信頼性と実用性は、多くの著名な機関での採用によって裏付けられています。日本銀行は、そのレポート「無形資産を考慮した企業のデフォルト率の推計」などで YK 値を採用しています³。東京証券取引所（TSE）は、日本経済応援プロジェクトの一環として、YK 値を用いて選定したテーマ銘柄を公表しており、金融市場におけるその価値が示されています⁷。日経グループも、その情報サービスなどで YK 値を利用しています⁵。これらの事例は、YK 値が単なる学術的な指標ではなく、実社会における意思決定に活用されていることを示しています。

III. US-YK 値の理解

US-YK 値は、工藤一郎国際特許事務所が開発した、米国特許を対象とした特許競争力指標です¹。これは、日本市場向けの YK 値を米国市場に対応させたものであり、米国特許の経済的価値に基づいて企業の成長性を予測することを目的としています¹。YK 値と同様に、特許の持つ経済的な価値に着目している点が特徴です。

US-YK 値の主な特徴として、米国で登録された全ての特許を網羅している点が挙げられます¹。これにより、米国市場全体の技術動向を俯瞰的に把握することが可能になります。また、個々の特許の相対的な価値を分析したり、特定の技術分野における成長傾向を分析したりすることもできます¹。この指標は、米国市場における技術競争力を評価するための強力なツールとなると期待されます。

US-YK 値は、IPO（新規株式公開）や M&A（合併買収）の分析、米国市場における技術分析など、幅広い用途での活用が期待されています¹。IPO を検討する企業や、M&A の対象となる米国企業を評価する際に、その企業の持つ特許ポートフォリオの経済的な価値を客観的に評価する指標として役立ちます。また、米国市場全体の技術動向を把握し、自社の技術戦略を策定する上でも重要な情報源となります。

US-YK 値の最初のバージョンは 2025 年 3 月に完成し、同年夏には特許価値評価ウェブサービス「PATWARE」でのデータ提供が予定されています¹。このことから、US-YK 値は比較的新しい指標であり、今後の展開と活用事例の蓄積が期待されます。

IV. YK 値と US-YK 値の比較分析

YK 値と US-YK 値は、ともに工藤一郎国際特許事務所が開発した特許価値評価指標であり、その根底には特許の経済的価値を重視するという共通の考え方があります¹。YK 値の算出において、競合他社からのアクションが重要な要素となっていることから、US-YK 値においても、同様の考え方が採用されている可能性が高いと考えられます。

両指標の最も明確な違いは、その対象とする市場です。YK 値は日本の特許を分析対象とするのに対し、US-YK 値は米国の特許を対象としています¹。この市場特化型のアプローチにより、それぞれの国の経済状況や法制度、競争環境を考慮した、より適切で精緻な特許価値評価が可能になります。異なる市場で事業を展開する企業や、国際的な投資を行う投資家にとって、それぞれの市場に特化した指標が存在することは、よりの確な意思決定を支援する上で重要です。

V. 特許および技術評価における実践的応用

企業は、YK 値と US-YK 値を活用することで、自社および競合他社の競争状況をより深く理解することができます¹。日本の特許に関しては YK 値を、米国の特許に関しては US-YK 値を分析することで、それぞれの市場における自社の技術競争力を相対的に評価することが可能です。このような分析は、研究開発投資の方向性、特許出願戦略、市場参入・拡大戦略といった重要な経営判断に役立ちます²。競合他社の YK 値の推移を長期的に観察することで、新たな脅威の出現や技術的な優位性の変化を早期に捉えることも可能です。

投資家は、YK 値と US-YK 値を、企業の潜在的な成長力を測る指標として活用できます¹。YK 値と企業の収益性や株価の間には相関関係があることが示唆されており¹、これらの指標は、有望な投資機会を発掘するための定量的な分析ツールとなり得ます。東京証券取引所が YK 値を用いてテーマ銘柄を選定している事実は、その投資判断における有用性を示唆しています¹。

YK 値は、金融機関やシンクタンクによるレポートにも活用されています。日本銀行は金融システムの安定性に関するレポートで YK 値を参照しており³、知的財産が企業価値に与える影響を分析する上で重要な要素として認識されています。企業自身も、ESG レポートや統合報告書において YK 値を言及することで、知的財産戦略の重要性をアピールする事例が見られます¹。

YK 値および US-YK 値は、特許価値評価ウェブサービス「PATWARE」を通じて提供されています¹。PATWARE は、YKS 手法に基づく特許価値評価をリアルタイムで提供することを目指しており、従来数ヶ月を要していた評価プロセスを大幅に短縮することが可能です³。PATWARE の利用者は、過去数十年分の YK 値の推移を分析したり、競合企業との比較を行ったり、特定の技術分野における分析を行ったりすることができます³。US-YK 値のデータも、2025 年夏に PATWARE 上で提供される予定です¹。このようなプラットフォームの存在は、高度な特許価値評価指標へのアクセスを容易にし、多くの企業や投資家がこれらの指標を活用することを促進します。

表 1. YK 値と YK3 値の比較

指標名	開発者	焦点	算出根拠	主な用途
YK 値	工藤一郎国際特許事務所	特許の独占排他性/競争力（第三者視点）	特許に対する第三者からのアクションにかかっ	競合分析、M&A 対象選定、投資判断

			たコスト	
YK3 値	工藤一郎国際特許事務所	特許権者の特許への投資/コミットメント（特許権者視点）	特許の取得・維持にかかった特許権者のコスト	特許への内部的な注力度評価、YK 値の補完

表 2. YK 値と US-YK 値の比較

指標名	開発者	対象市場	根底にある手法	主な特徴	潜在的な用途
YK 値	工藤一郎国際特許事務所	日本	YKS 手法（経済的価値重視）	特許の独占排他性を第三者からのアクションに基づいて測定	日本市場における技術競争力評価、日本企業への投資判断
US-YK 値	工藤一郎国際特許事務所	米国	YKS 手法（経済的価値重視）	米国特許の経済的価値に基づき企業の成長性を予測、米国全特許を網羅、個々の特許価値と技術分野のトレンドを分析	米国市場における IPO/M&A 分析、米国市場の技術分析

VI. 結論

YK 値および US-YK 値は、従来の特許評価指標とは一線を画す、経済的な価値に着目した先進的な指標と言えます。YK 値は、日本の特許が競合他社から受ける挑戦の度合いを測ることで、その真の競争力と経済的価値を明らかにします。一方、US-YK 値は、この実績ある手法を米国市場に応用することで、米国特許の価値に基づいた企業の成長性予測を可能にします。これらの指標は、企業が自社の知的財産戦略を策定し、投資家が有望な企業を見極め、金融機関がリスクを評価する上で、より洗練された洞察を

提供することが期待されます。今後、PATWARE プラットフォームを通じてこれらの指標が広く活用されることで、知的財産が企業価値に与える影響についての理解がさらに深まることが期待されます。

引用文献

1. 米国の特許競争力指標「US-YK 値」を開発 - アクロソフト株式会社, 4 月 1, 2025 にアクセス、https://www.acrosoft.co.jp/patware/usyk_20250328/
2. YKS 手法 (YK 値) のご紹介 - 工藤一郎国際特許事務所, 4 月 1, 2025 にアクセス、https://www.kudopatent.com/casestudy/yks_info.html
3. YKS 手法について | 世界初の YK 値を活用した特許価値評価ウェブサービス - PATWARE, 4 月 1, 2025 にアクセス、<https://www.patware.net/yks/>
4. YK 値 | ブログ_news | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ, 4 月 1, 2025 にアクセス、https://www.kudopatent.com/news_and_topics/YK%E5%80%A4.html
5. TOP 工藤一郎国際特許事務所ホームページ, 4 月 1, 2025 にアクセス、<https://www.kudopatent.com/index.html>
6. プレスリリース | ブログ_news | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ, 4 月 1, 2025 にアクセス、https://www.kudopatent.com/news_and_topics/%E3%83%97%E3%83%AC%E3%82%B9%E3%83%AA%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%B9.html
7. 特許の価値を評価する「YK 値」とは?, 4 月 1, 2025 にアクセス、<https://blog.kudopatent.com/wordpress/?p=54>
8. Economic value of intellectual property - USPTO, 4 月 1, 2025 にアクセス、https://www.uspto.gov/sites/default/files/aia_implementation/ipp_-2011nov08-ukipo-2.pdf
9. 知財力の可視化とその応用例, 4 月 1, 2025 にアクセス、https://www.ipaj.org/bulletin/pdfs/JIPAJ6_-1PDF/6_1_p017-021.pdf
10. YKS 手法による企業特許価値評価 - PATWARE, 4 月 1, 2025 にアクセス、https://www.patware.net/wp_-content/uploads/2021/01/yks_-report.pdf
11. The collection of YK value papers - TOP KUDO&Associates, 4 月 1, 2025 にアクセス、<https://eng.kudopatent.com/casestudy/pg4532471.html>
12. 特許価値評価 WEB サービス「PATWARE」が未上場企業関連機能を追加 - PR TIMES, 4 月 1, 2025 にアクセス、<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000120770.html>
13. YKS 特許評価(株): ヒストリカルデータ | 株式会社 金融データソリューションズ, 4 月 1, 2025 にアクセス、https://www.fdsol.co.jp/academic/acagentsales_-list/yks01/
14. 特許価値評価に命! 業務が変わります。特許価値評価に命! 業務が変わります。 - パットウェアは, 4 月 1, 2025 にアクセス、https://www.acrosoft.co.jp/wp_-content/uploads/2021/09/PATWARE_flyer_202109.pdf
15. YKS 手法ご活用事例 - 工藤一郎国際特許事務所, 4 月 1, 2025 にアクセス、

https://www.kudopatent.com/casestudy/yks_casestudy.html

16. 米国の特許競争力指標「US-YK 値」を開発 | ブログ_news, 4 月 1, 2025 にアクセス、https://www.kudopatent.com/news_and_topics/2025-03-28.html
17. PATWARE 利用例 : CSV データを活用した業界分析, 4 月 1, 2025 にアクセス、https://www.patware.net/info/blog/data_usecase_202207/
18. 世界初の YK 値を活用した特許価値評価ウェブサービス | PATWARE, 4 月 1, 2025 にアクセス、<https://www.patware.net/>
19. 特許から見た技術競争力の企業分析チャート「Baton⁺⁺」の提供を開始 - PATWARE, 4 月 1, 2025 にアクセス、https://www.patware.net/service/baton_release_202503/